

令和3年度事業報告(概要版)①

1. 地域振興のための意見・政策提言活動の展開

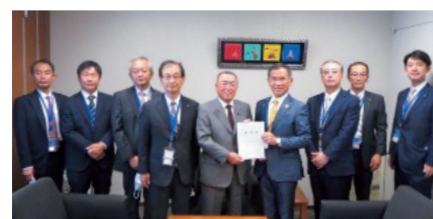
中小企業の発展や、都市基盤整備の充実に向けた、各種提言や要望活動を行った。

●国への要望

1. 「最低賃金に関する要望～コロナ禍の厳しい経済情勢を踏まえ、『現行水準の維持』を～」
…… [福山商工会議所] 【令和3年5月6日】
2. 「『福山道路整備促進』に関する要望」
…… [福山道路整備促進期成同盟会] 【令和3年10月15日】
3. 「令和4年度税制改正に関する要望」
…… [福山商工会議所] 【令和3年10月15日】
4. 「『福山港機能強化』及び『福山道路整備促進』に関する要望」
…… [福山商工会議所他・一般国道2号福山道路整備促進期成同盟会] 【令和3年11月11日】
5. 「令和3年度中小企業・地域活性化施策に関する意見・要望」
…… [広島県商工会議所連合会] 【令和3年11月30日～12月3日】

●広島県への要望

1. 「福山道路整備促進に関する要望」
…… [福山道路整備促進期成同盟会] 【令和3年10月15日】
2. 「『広島県東部港湾（福山港・尾道糸崎港）整備に関する』要望」
…… [福山商工会議所他] 【令和3年12月2日】
3. 「令和3年度中小企業・地域活性化施策に関する意見・要望」
…… [広島県商工会議所連合会] 【令和3年12月13日・令和4年1月12日】
4. 「令和4年度小規模企業対策予算の確保に関する要望」
…… [広島県商工会議所連合会] 【令和3年12月13日・令和4年1月12日】



▲宮沢参議院議員に要望書を手交
【令和3年11月11日】



▲国土交通省村山道路局長へ要望
【令和3年11月11日】



▲国土交通省中国道路整備局への要望活動
【令和3年10月15日】



▲湯崎広島県知事に要望書を手交
【令和3年12月2日】

●一般国道2号福山道路整備促進期成同盟会設立 【令和3年11月2日】

備後圏域の物流の効率化や圏域内の連携強化、および福山都市圏における交通混雑の緩和や交通安全の確保、並びに一般国道2号福山道路の整備促進を図るため設立され参画した。



▲福山道路の整備状況



▲設立総会（福山市、尾道市、三原市、笠岡市の市長、市議会議長、商工会議所会頭）

●第53回経済行政懇談会 【令和3年12月24日】

当地域の活性化に向け、福山市、福山市議会、福山商工会議所のトップが集い、今後の方向性について活発な意見交換を行った。

◆福山市からの説明項目

- ・福山城築城400年記念事業
- ・新型コロナウイルス感染症対策
- ・デジタル化推進

●当所からの発言概要

- 築城400年記念行事について、本丸内に生えている桐で製作した「福山琴」のお披露目など、経済界としても積極的に参画する。
- 募金目標額10億円達成に向け、引き続き、募金活動を積極的に推進していく。
- 3回目ワクチン職域接種に取り組む。
- デジタル化について、福山市が設置している「びんごデジタルラボ」「びんごICT相談所」の活用事例も含め積極的な周知を図っていく。



▲林会頭



▲枝廣市長



▲小川議長



▲福山市、福山市議会、当所のトップが地域活性化等について意見交換

●要望活動の成果

◆福山港箕沖地区岸壁供用式典 【令和4年3月21日】

福山港国際コンテナターミナルは、コンテナ船の大型化に伴い2隻同時に着岸できないことが、利用する事業者の課題であったが、官民一体となった精力的な要望活動により、岸壁の延伸が実現し供用開始となった。



▲岸壁の延伸が実現し、供用開始に。

令和3年度事業報告〔概要版〕②

2. 中小・小規模企業の成長と経営力の強化

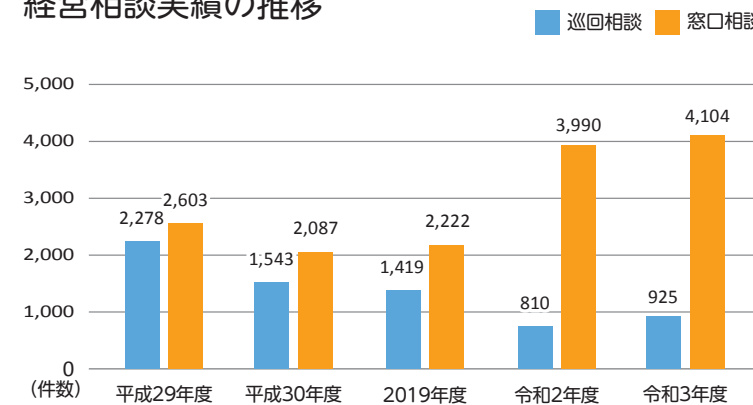
当所会員の大半を占める小規模事業者に対して、経営指導員が中心となり金融、税務、記帳、労務などの基本的な相談をはじめ、各種助成金・補助金の活用、経営計画策定、販路開拓、創業支援など、福山地域中小企業支援センターの専門家と連携し重層的・複合的な経営相談を実施した。また、引き続き新型コロナウイルス感染症に関する各種支援制度の対応に注力した。

また、相談者との非接触による感染防止や、利便性の向上を図るため、オンライン経営相談を開設した。支援手法に精通した専門家による相談窓口と併せ、相談者の状況に応じた支援策が、円滑かつ適切に活用されるようにサポート体制を充実させ、支援金、補助金、資金繰り、雇用関連などの相談に対応するとともに、事業所向けの支援施策の迅速な情報提供に取り組んだ。

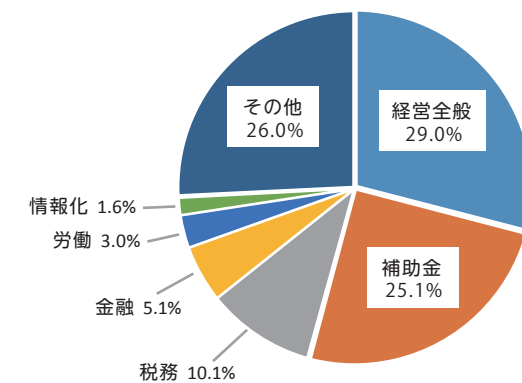
【令和3年度実績】

- ・巡回相談 925件
- ・新型コロナウイルス関係相談件数 1,431件
- ・窓口相談 4,104件
- ・オンライン相談件数 12件

経営相談実績の推移

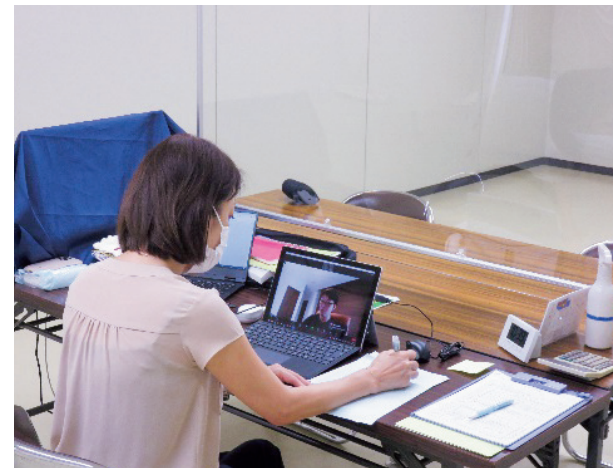


窓口相談種別割合 (相談件数: 4,104件)



【新型コロナ関連の給付金・支援金等の相談実績】

給付金・支援金等	支援者数
緊急事態宣言の影響緩和に係る一時支援金	508
事業復活支援金	456
緊急事態措置・まん延防止等重点措置の影響緩和に係る月次支援金	317
小規模事業者持続化補助金 (一般型・低感染リスク型ビジネス枠)	61
事業再構築補助金	50
広島県頑張る中小事業者月次支援金	8
広島県感染症拡大防止協力支援金	9
福山市中小事業者売上回復支援金	2
課題解決支援事業補助金	12
福山市感染症対策設備・衛生用品導入支援事業補助金	2



▲相談者の安全確保と利便性向上のため、オンライン相談窓口を開設

伴走型支援

●経営発達支援計画(令和3年3月認定)に基づく経営支援

小規模事業者を地域ぐるみで総合的に支援していくために策定した「経営発達支援計画」に基づき、当所の経営指導員等が小規模事業者の経営力強化に向けて、専門家と連携しながら、伴走型支援の一環として、経営状況分析、経営計画策定・実行に係る支援に引き続き注力した。

- 【令和3年度実績】 経営状況分析 283件
- 経営計画策定 249件

●セミナー・研修等

事業再構築補助金、小規模事業者持続化補助金の申請支援のためのセミナーや、新たに導入した商圏分析ツール「MieNa」の利用についてのセミナー・研修などを開催した。

- 【令和3年度実績】 13回開催 延べ88名受講

●創業支援

「創業塾」、「創業フォローアップセミナー」の開催や個別相談を行い、ビジネスプランの作成や資金調達、各種届出・手続、税務、労務など、創業者及び創業予定者に寄り添った支援を行った。

- 【令和3年度創業件数】 24件

「創業塾」の様様



▲オリエンテーション



▲グループワーク



▲専門家への相談

●販路開拓フォーラム2022&ビジネス交流会の開催

【実施日：令和4年2月24日】

小規模事業者の販路開拓の推進や伴走型支援対象事業者の掘り起こしを図るため、伴走型支援事業者の事例発表や、専門家による商議所活用に係るセミナー等を内容とするフォーラム、並びに参加者同士のビジネスマッチングに資する交流会を開催した。

- 事例発表：4者 参加者：23名



▲川上講師のセミナー



▲販路開拓の事例発表



▲参加者同士の意見交換

令和3年度事業報告(概要版)③

小規模事業者向け特化した情報化支援事業

小規模事業者向けIT専門家による定例的な情報化相談日の開設や、情報化事例の周知、セミナーの開催や「商工ふくやま」での連載を行い、小規模事業者のデジタル化支援に取り組んだ。

【令和3年度実績】

- ・IT相談件数 75件
- ・店舗活性化セミナー「ECサイト・ホームページを活用した売上アップ手法」受講者 31名
- ・動画活用セミナー(初級編)(上級編)受講者 100名
- ・DX入門セミナー受講者 25名
- ・「ビジョンと魂ある企業が『この先100年つづく』ためのデジタル戦略第一歩」受講者 20名



▲動画活用セミナーをハイブリッドで開催



▲「商工ふくやま」で事業者向けのデジタル活用事例を紹介

事業継続力強化支援事業

●事業継続力強化支援計画(令和3年4月認定)に基づく事業継続支援

小規模事業者の自然災害等に対する備えや復旧を支援するために、事業継続力支援計画に基づき、小規模事業者の災害対策の普及啓発や、災害時の被害確認・報告体制の整備に対する支援を行った。

【セミナー開催実績】

- ・BCP策定推進フォーラム 受講者 37名
- ・BCP啓発セミナー 受講者 27名
- ・BCP策定講座 受講者 58名
- ・BCP検証机上演習 受講者 36名

「防災の日」にちなみ、ハザードマップの活用や「事業継続力強化計画」認定制度を周知



人手不足・人材育成に対する取り組み

●就活応援ラジオ〜今こそ地元で働こう!【実施期間：令和3年6月1日〜30日】

コロナ禍により対面での採用活動が制限される会員企業の人材確保を支援することを目的に、エフエムふくやまの番組「就活応援ラジオ〜今こそ地元で働こう〜」の放送や、同社のフェイスブック、ユーチューブを通じ、会員企業の採用情報を22回に渡り発信した。

参加企業 42社



▲就活応援ラジオ

●フィールドスタディ「ローカス」【開催期間：令和3年7月20日〜令和4年1月28日の間、5回6日間開催】

高校や大学卒業後に地元企業へ就職してもらうことを目的に、中学生や高校生を対象にした、地元企業の魅力を知るためのプログラムを開催した。

5回開催(うち3回はオンライン開催)

参加企業 延べ113社 参加者 850名



▲職場体験する中学生

●オンリーワン・ナンバーワン企業見学会【開催日：令和3年11月29日・12月1日】

福山地域に他社にない技術を有するオンリーワン企業や、国内シェアがトップのナンバーワン企業の認知度向上と人材確保や、高卒者のミスマッチによる早期離職防止を目的に、市内高校の進路指導担当教員を対象にした見学会を2回開催した。

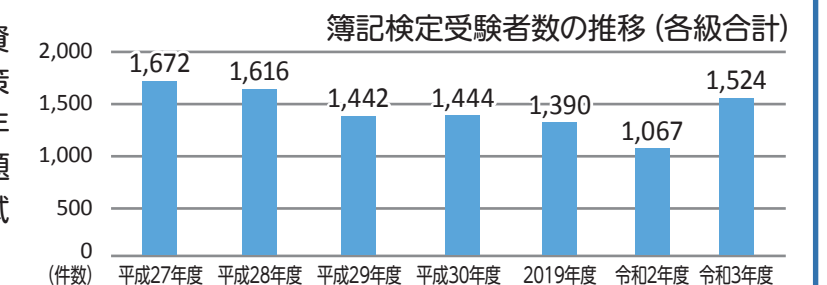
参加者 市内高校9校より進路指導担当教員延べ64名



▲製造現場を見学する教員

●日商簿記検定試験2・3級受験対策講座の開講

企業が求める資格で上位にランクされる人気資格である日商簿記検定試験2・3級の受験対策講座を各種合わせ10講座開講。幅広い層から年間120名が受講。基礎知識の定着から過去問題の演習までを指導し、企業の人材育成と検定試験の普及・拡大に努めた。



※令和2年度は新型コロナウイルスにより第155回簿記検定試験は中止となり、年2回の開催となった。

※令和3年度から統一試験とネット試験(当所パソコン教室受験分)の合算

●セミナー開催

従業員の資質向上のため各種セミナーを開催。コロナ禍の影響を受けるなか、オンラインを取り入れるなど工夫し開催した。また、従業員の働き方改革や兼業・副業人材活用など、経営者向けセミナーも開催した。

【主なセミナーと受講者数】

- ・新入社員セミナー2021 150名
- ・第55回福山青色学校 12名
- ・働き方改革企業経営者勉強会 139名
- ・兼業・副業人材活用セミナー 8名
- ・管理者研修 21名
- ・若手社員研修 24名
- ・店舗活性化セミナー 31名

毎年好評の「新入社員セミナー」▶



令和3年度事業報告〔概要版〕④

3. 産業の発展と潜在力の強化

●第12回ビジネス交流フェア【開催日：令和4年2月22日】

長引くコロナ禍で、対面での営業活動や大人数が集まるイベントが制限されるなか、広い会場を確保し、消毒液やアクリル板の設置、フェイスシールドの着用、さらには面談に制限時間を設けるなどの感染防止策を徹底し、個別商談会・名刺交換会を開催した。12回目を迎えた今回は、88事業所から130名の参加者があった。

個別商談会 20事業所 28面談



▲活発に名刺交換を行う参加者

●備後地域商工会議所新事業アワード2021【開催日：令和4年2月22日】

新商品・新技術等の開発、独創的かつ市場性のある新事業の取り組みにより優れた実績をあげ、地域産業の発展と向上に貢献した中小企業の表彰を行った。2回目となる今回は、製造業部門12社、商業・サービス業部門13社の応募があり、審査会においてそれぞれ大賞・優秀賞が選出された。

【製造業部門】			
大賞	(株)キャスト	精密機械部品製造の技術を活用したオリジナル商品の開発	福山市
優秀賞	(有)広島金具製作所	雨どい吊金具「吊ビタ君」	福山市
優秀賞	真辺工業(株)	大径リーマー工法	府中市
【商業・サービス業部門】			
大賞	山陽染工(株)	地元ものづくりセレクトショップ「FUKUYAMA MONO SHOP」	福山市
優秀賞	(株)正文社印刷所	文字のしおり	福山市
優秀賞	(株)太陽都市クリーナー	「チョコっとBOX」、「チョコっと便」	府中市
優秀賞	瀬戸内ゴルフリゾート(株)	圧倒的絶景キャンプ	竹原市



▲新事業アワードの受賞者

【製造業部門】大賞 1社
優秀賞 2社

【商業・サービス業部門】大賞 1社
優秀賞 3社

●広島県中小企業知財支援センター福山サテライト

中小企業のものづくり技術の向上及び競争力と経営基盤の強化に資するため、知的財産に精通したアドバイザーによる特許技術の商品化や既存技術の応用等に係る相談・指導を実施するとともに、当所独自の知的財産取得支援制度の活用を図った。

【令和3年度実績】

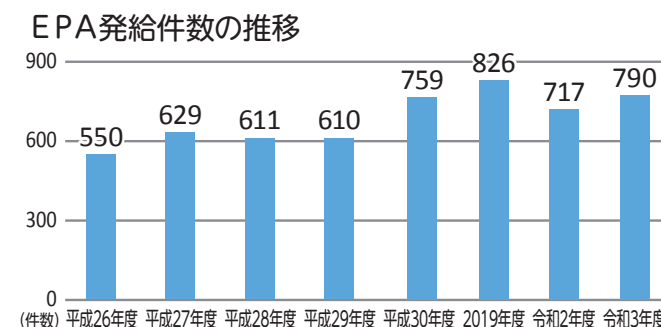
- ・知財相談日（知財活用アドバイザーによる相談）月曜日～金曜日
相談件数：392件 相談日数：240日
- ・弁理士相談 毎月第1・3木曜日 相談件数：18件
- ・知的財産権取得支援 補助金認定件数：19件



▲弁理士相談の様（2019年）

●地域企業の海外取引等支援

非特惠原産地証明・サイン証明・インボイス証明の発給及び日本商工会議所福山事務所として、EPA（経済連携協定）に基づく特定原産地証明などの貿易関係証明の発給を通して、地域企業の海外取引等の支援を行った。



中心市街地活性化の取組

●福山駅前等歩道空間活用社会実験 OPEN STREET FUKUYAMA 2021 Vol.6

【開催日：令和3年11月6日・7日】

長引くコロナ禍で、駅前周辺の活気が失われつつあるなか、感染対策の徹底や見える化等、withコロナの行動様式を踏まえた賑わいづくりの社会実験として開催した。

【6回目の開催にあたっての3つのポイント】

- ①関係者がワクチン接種またはPCR陰性を証明するワッペンを着用
- ②駅前周辺に人流が集中することを避けるため、エリアを広げて中心部の商店街でもイベントを同時開催
- ③今後、再開発が進む旧カスバ跡地での最後のイベント開催



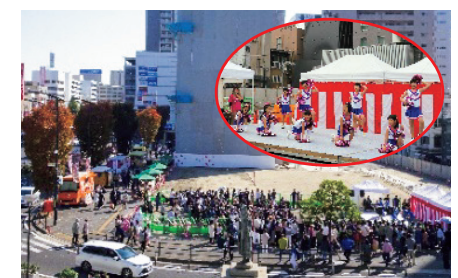
▲関係者がワッペンを着用し感染対策の見える化を図る



▲商店街でイベントを同時開催（宮通り）



▲キッチンカーを楽しむ来街者

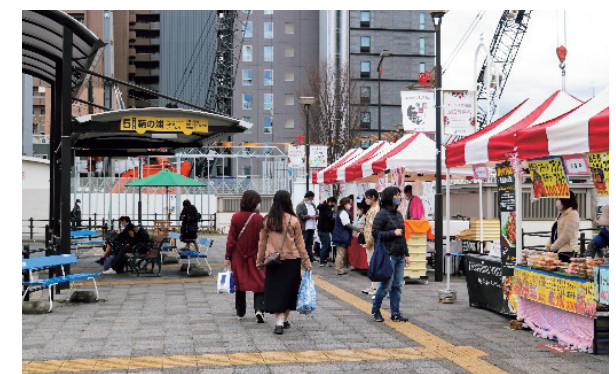


▲旧カスバ跡地でのダンスイベント

●ふくやま駅前マルシェ2022

【開催日：令和4年3月19日・20日】

コロナ禍によって人出が減少した福山駅前のにぎわい創出や回遊性の向上に寄与する取り組みの一環として、福山駅南口広場や三之丸町ローソン前歩道のほか、新たにバスターミナル広場、伏見町アーケード下歩道、駅前交番前の歩道空間を活用し、飲食、雑貨、キッチンカーなど31ブースを駅前全体を回遊できるように配置し開催した。



▲新たに活用したバスターミナル広場

●まちゼミ福山

【開催日：第16回 令和3年10月1日～10月31日・第17回 令和4年3月1日～3月31日】

専門店ならではの知識や情報、技やコツを受講者に無料で伝授する、得する街のゼミナール「まちゼミ福山」を開催。商店街の店主やスタッフが講師となり商品・サービスの特徴や取扱い方を説明することで、お店独自の考え方や商品に対する愛着を伝え、お店のファンづくりに取り組んだ。

参加店数：28店（延べ） 講座数：32講座 受講者数：209名



▲講座「日本酒・ワインの味わいの楽しみ方をあなたに！」

令和3年度事業報告〔概要版〕⑤

4. 地域資源を活用した都市力の向上

ワイン振興の取り組み

地域資源（「ばら」、「ぶどう」）を活用した地域活性化

ワインを核とした地域活性化を目指し、産学官民連携により設立した「備後福山ワイン振興協議会」の活動を通じ、これまで商品化された赤ワイン「備後ワイン」などの販路開拓や、新規参画事業者の育成・支援、備後福山産ワインの認知度向上、消費拡大等に取り組んだ。

また、瀬戸内のワイナリーを巡り、造り手との交流や、ぶどう畑の景色や食・文化を楽しむ「ワインdeバスツアー」の開催や、長距離観光特急列車「WEST EXPRESS銀河」の停車に合わせたワインの販売など、各種イベントに積極的に参加しPRと普及に努めた。



◀造り手の熱い思いを現地で体感するバスツアー参加者



▶旅の思い出にワインを購入する「銀河」の乗客

伝統産業振興事業

「福山琴」、「松永下駄」、「鞆保命酒」、「備後畳表」、「備後緋」の活性化

当地域にある5つの伝統産業の販路拡大や情報発信の支援の一環として、共通のチラシやポスターを作成し、イベントや展示会などで周知・配布した。また、福山琴については、「和楽器バンド」の箏の奏者である、いぶくろ聖志氏監修のもと福山邦楽器製造業（協）が取り組む、新たな福山琴「和楽器バンドモデル（仮称）」の試作品製造を支援した。さらに、福山城築城400年記念事業に合わせ、福山城内の桐を活用し「後世に残す福山琴」を、当所と協同組合の共同開発として着手。令和4年8月の福山城築城400年オープニングイベントでのお披露目を目指し取り組む。



▲共通チラシ



▲いぶくろ氏からのアドバイスをもらい開発



▲福山城内に自生した桐木

5. 当所組織運営基盤の強化と会員サービスの充実

●部会・委員会活動

11部会の正副部長よりコロナ禍が業界に及ぼす影響等をヒアリングし、当所の事業活動や行政への要望（経済行政懇談会等）に反映させた。また、委員会活動では、8常設委員会並びに4特別委員会を適宜開催。経済政策委員会では「令和4年度税制改正」に対する意見集約を行い、総務委員会では「創業永年会員・優良従業員表彰」について審議。また、基盤強化特別委員会では「会員増強運動」等について審議した。



▲機械金属、繊維工業部会の状況をヒアリング

●青年部

コロナ禍の中、敷田会長のもと再スタートを切り、例会活動や企業視察をはじめ、「ふくやま城下あかりまつり」「ジュニアエコノミーカレッジ」「トップマネジメントセミナー」などの事業を展開。リアル開催が困難な状況では納涼例会をYouTubeで配信するなど工夫を凝らし、「県連フォーラム」「ビズフェスふくやま」などの大型イベントも成功させ、最後は「卒業式」で締めくくった。



▲「ふくやま城下あかりまつり」を旧キャバ跡地で開催



▲「ジュニアエコノミーカレッジ」販売実践



▲「県連フォーラム」を福山で開催

●女性会

女性らしい活動を全面に出し、「グリーンアレンジ教室」「子育て支援事業『手作りアロマ石けん』寄贈」「コミュニケーションセミナー」「会員企業視察会」を開催。更には時代の流れに乗り「IT講習会」を5回シリーズで開催し、会員同士の新たなコミュニケーション手段を学ぶなど、積極的に活動した。



▲手作り石けんを幼稚園に寄贈



▲企業視察では和菓子の手作りを体験



▲IT講習会

●松永支所の移転

福山市西部市民センター4階へ移転した。同センターの一面に事務所を設置することで、経営相談や行政サービスを同一建物内でワンストップで済ませることが出来るなど、利用者の利便性向上を図った。【移転日 令和3年5月6日】



▲福山市西部市民センター

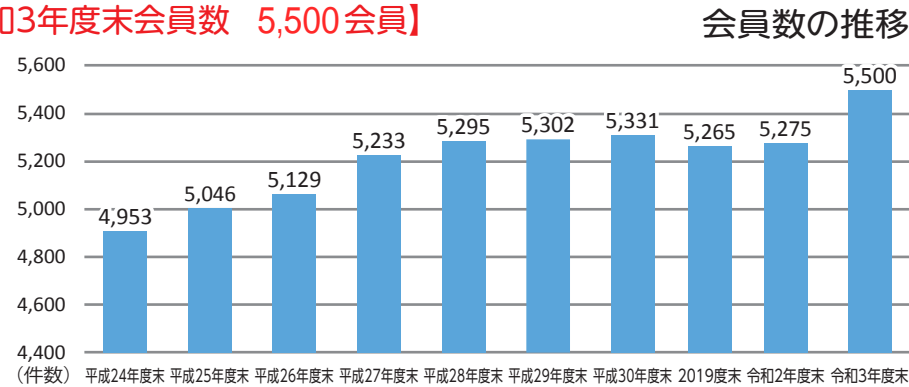


▲新事務所内

令和3年度事業報告(概要版)⑥

会員数の推移【令和3年度末会員数 5,500会員】

コロナ禍で会員増強運動の展開が困難ななか、コロナ禍に対する事業所支援等の機会をとらえて積極的に加入促進に取り組んだ結果、会員数は過去最高となった。



会員サービス事業の実施

●広報活動

さまざまな媒体で、当所事業活動や企業経営に有益な各種情報の周知に努めた。

記者会見では会頭による事業の方針説明や毎月実施する景気観測調査(DI調査)の発表、当所主要事業の告知・説明、会員事業所からの新製品等のPR(5社)などを行った。特に新型コロナウイルスに関する会員事業所の経営動向や当所の取組状況及び各種支援策について重点的に発表を行った。

【その他媒体活動】

・月刊誌「商工ふくやま」・ホームページ・メールマガジン「FCCIライナー」
・フェイスブック・エフエムふくやま「ハロー！商工会議所」

【FCCIライナー】配信先 1,374件
【コロナ禍緊急対策臨時号】発行15回

(定例会見で会員事業所の新商品等を紹介)

定例会見を会員事業所の新製品などのPRの場として提供し、販路開拓や提携先の募集など、マスコミを活用した情報発信を支援した。

【令和3年度発表件数 5件】

新商品を発表する会員事業所▶

●セーフティショップ応援事業

コロナ禍で影響を受ける飲食店等、対面営業が主体となる事業所を対象に、当所が定める感染対策基準をクリアし、顧客の安心・安全のため積極的に感染防止対策に取り組む事業所を、当所ホームページ、「商工ふくやま」等の媒体を通じ紹介し、来店を促す取り組みを行った。

掲載事業所数 60事業所



▲感染対策の取組を紹介し来店を誘引



●創業永年会員・優良従業員表彰事業

社会経済の変遷のなか、会員事業所並びに従業員の永年にわたる精進と努力に敬意と感謝を表す表彰式を、新型コロナウイルス感染防止の観点から、議員全員協議会において、コンパクトかつ簡潔に開催した。

【令和3年度表彰実績】創業永年会員 147社 優良従業員 615名



▲令和3年度代表受章者(正副会頭・専務理事と共に)

●新型コロナワクチン職域接種

「新型コロナウイルス感染拡大防止と社会経済活動の両立環境の整備」の基本方針のもと、その一環として「ワクチン接種は最大の経済対策」との認識に基づき、市及び(一社)福山市医師会の協力により職域接種を実施した。

①福山市大規模接種会場での職域接種

場 所 労働会館みやび
開催日 令和3年 8月9日～9月12日
予約数 93事業所 876名

場 所 シャープ福山スポーツセンター
開催日 令和3年 8月11日～9月4日
予約数 81事業所 547名

②当所主催の職域接種

場 所 福山市医師会館
開催日 令和3年 8月27日～10月17日
接種数 626事業所 3,257名
地域貢献枠 1,222名

ワクチン接種への思い

開始が当初予定した7月9日(金)より7週間もずれ込み、お待ちいただいていた事業所の皆さまには大変ご心配をおかけいたしました。何とか実施の運びとなり、まずは安堵しております。

現在、第5波の感染拡大が到来しているなか、多くの事業所の皆さま方に対して接種機会を提供でき、市全体の接種率の向上や、安心・安全な経済活動に多少なりとも寄与できているのではないかと考えております。

このたびの職域接種を弾みとして、一日も早く社会経済活動が正常化していけるよう願っております。

最後に、当所では、独自の医療資源の確保が難しい中、快く連携してくださった児玉会長をはじめとする福山市医師会の皆さまに、感謝申し上げます。



福山商工会議所
会頭 林 克士

▲林会頭自らワクチン接種への思いを伝え、接種を呼び掛ける。



▲商工会議所始まって以来の医療行為に係る事業を職員総出で対応。



▲福山市医師会会員による問診

●新型コロナウイルスワクチン接種証書発行及び接種関連ツールの無償配布

職域接種を活用した会員事業所に対し、感染拡大防止に積極的に取り組んでいる証として、「新型コロナウイルスワクチン接種推進事業所証書」を発行し、さらに経済活動支援のため「新型コロナウイルスワクチン接種関連ツール」を、希望する会員事業所に無償配布した。

【新型コロナウイルスワクチン接種推進事業所証書発行件数】 749件

【新型コロナウイルスワクチン接種関連4ツール配布実績】

申込数	232事業所
配布実績	ステッカー 1,462枚
	ピンバッジ
	日本語 3,354個
	英語 1,833個
	缶バッジ 4,117個
	マスクシール 1,745枚

福山商工会議所オリジナル 新型コロナウイルスワクチン接種 関連ツールのご案内

ウィズコロナ下において、会員事業所の経済活動促進の一助とするため、当所オリジナルの「新型コロナウイルスワクチン接種関連ツール」を作成しました。お客さまとの対応に当たられている職種をはじめ、営業活動や会議等、さまざまなビジネスシーンで安心・安全を促すツールとしてご活用ください。



お申込期間 令和3年11月1日(月)～11月30日(火)
※お申込期限内でも、商品がなくなり次第終了いたします。あらかじめご了承ください。

お申込方法 当所HPより、申込フォームに必要事項を入力後、送信してください。準備が整い次第、本所(福山市西町二丁目10-1)に取りにお越しいただく確認メールをお送りいたします。https://www.fukuyama.or.jp/corona-tool/

▲ワクチン接種が経済活動の活性化につながることを期待し無償配布



職種に応じた
アイテムを提供